



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 グンゼ株式会社

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児玉 和

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長

(氏名) 富岡 修

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	63,313	△5.6	875	43.7	751	18.3	195	△40.7
24年3月期第2四半期	67,059	△0.3	609	△63.5	635	△64.9	329	△54.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △2,037百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △1,312百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.02	1.01
24年3月期第2四半期	1.71	1.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	167,974	106,855	62.9	551.50
24年3月期	168,517	110,197	64.7	568.89

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 105,647百万円 24年3月期 108,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	7.50	7.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,000	0.3	3,600	251.9	3,400	248.7	1,600	180.2	8.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	209,935,165 株	24年3月期	209,935,165 株
25年3月期2Q	18,369,846 株	24年3月期	18,369,686 株
25年3月期2Q	191,566,926 株	24年3月期2Q	193,075,423 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 四半期決算補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における日本経済は、震災からの復興需要を背景に緩やかな回復傾向が続いたものの、欧米・中国の景気停滞、円高・株安・デフレの影響から個人消費を含めた停滞感は払拭されず、総じて厳しい経営環境が続きました。

このような状況において当社では、2年目を迎える中期経営計画『Innovation 4S（平成23年度～平成25年度）』の重点戦略である「成長確保」と「体質強化」を両輪として、激変する市場環境への対応力強化に取り組みました。

機能ソリューション事業は、海外経済の減速や円高の影響などにより受注が減少するなど、厳しい環境が続きました。アパレル事業は、継続する節約志向、大手流通のPB（プライベートブランド）商品の拡大及び天候不順などから、全般に苦戦を強いられました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は63,313百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は875百万円（前年同期比43.7%増）、経常利益は751百万円（前年同期比18.3%増）、四半期純利益は195百万円（前年同期比40.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、残暑の長期化で主力の飲料向けは堅調に推移したものの、食品包装分野や工業用途は総じて低調となりました。エンジニアリングプラスチック分野では、OA機器用部材は欧州の景気低迷や印刷数抑制などにより需要が停滞しましたが、半導体関連用途は順調に推移しました。電子部品分野は、主力である中・大型透過型静電容量方式タッチパネルの受注が低迷し苦戦しましたが、Windows8関連のパソコン向けタッチパネルの受注獲得に注力しました。メディカル分野は、日本・韓国及び欧州での販売が伸長し、堅調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は23,235百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は1,407百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

<アパレル事業>

インナーウェア分野では、天候不順や消費マインドの悪化も重なり、ベーシック商品やシーズン商品が苦戦しましたが、ボディワイルドなどのファッション・カジュアル商品は堅調に推移しました。また、原価改善や固定費削減などにより収益性は改善しました。レッグウェア分野は、ソックスが苦戦したものの、プレーンストッキングが引き続き好調に推移しました。以上の結果、アパレル事業の売上高は33,969百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は837百万円（前年同期比660.9%増）となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野は、本年10月リニューアルオープンの商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん（にしまち）」改装工事の影響により苦戦しましたが、第2四半期は新規テナント導入効果もあり好調に推移しました。スポーツクラブ分野は、既存店の順調な集客に加えて、新規に京都店・神戸店の2店舗が開店し、堅調に推移しました。以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は6,611百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は307百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、167,974 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 543 百万円減少しました。主な減少要因は、投資有価証券の減少 3,154 百万円、機械装置及び運搬具の減少 1,090 百万円、現金及び預金の減少 791 百万円、流動資産「その他」の減少 683 百万円（繰延税金資産の減少等）であり、主な増加要因は、商品及び製品の増加 2,914 百万円、投資その他の資産「その他」の増加 2,081 百万円（長期前払費用の増加等）であります。

負債は、61,118 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,799 百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の増加 3,605 百万円であり、主な減少要因は、流動負債「その他」の減少 1,130 百万円（設備関係支払手形の減少等）であります。

純資産は、106,855 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,342 百万円減少しました。主な減少要因は、その他有価証券評価差額金の減少 2,470 百万円、配当による減少 1,436 百万円であり、主な増加要因は、為替換算調整勘定の増加 237 百万円、四半期純利益の計上による増加 195 百万円であります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 791 百万円減少し、5,287 百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、2,008 百万円（前年同期は 2,789 百万円の支出）となりました。主なキャッシュ・インは減価償却費 3,689 百万円、税金等調整前四半期純利益 630 百万円であり、主なキャッシュ・アウトは たな卸資産の増加 2,091 百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して 951 百万円増加し 4,893 百万円となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は機能ソリューション事業の設備投資など固定資産の取得による支出 3,722 百万円であります。

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して 4,380 百万円減少し 1,966 百万円となりました。主なキャッシュ・インの要因は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加 4,021 百万円、主なキャッシュ・アウトの要因は配当金の支払 1,426 百万円、長期借入金の返済による支出 625 百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、海外経済の減速や円高の影響等による機能ソリューション事業の受注減少等により売上高は低調に推移しているものの、利益面では、アパレル事業の原価改善等により概ね想定範囲内で推移していることから、下記のとおり通期連結業績予想について売上高のみ修正しております。

なお、配当につきましては当初予想通り 1 株当たり年間 7 円 50 銭から変更しておりません。

平成 25 年 3 月期通期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	141,500	3,600	3,400	1,600	8.35
今回予想 (B)	137,000	3,600	3,400	1,600	8.35
増減額 (B－A)	△4,500	—	—	—	—
増減率	△3.1%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	136,621	1,023	975	571	2.96

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

そのため、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,078	5,287
受取手形及び売掛金	29,547	29,942
商品及び製品	22,190	25,105
仕掛品	7,177	7,033
原材料及び貯蔵品	6,195	6,085
その他	4,224	3,541
貸倒引当金	△21	△6
流動資産合計	75,392	76,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,386	37,855
機械装置及び運搬具（純額）	16,103	15,012
土地	11,907	11,912
その他（純額）	2,349	3,066
有形固定資産合計	68,746	67,847
無形固定資産	1,916	1,784
投資その他の資産		
投資有価証券	12,538	9,383
その他	9,993	12,075
貸倒引当金	△69	△105
投資その他の資産合計	22,462	21,353
固定資産合計	93,125	90,985
資産合計	168,517	167,974
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,013	7,429
短期借入金	4,798	4,902
コマーシャル・ペーパー	19,600	23,700
1年内返済予定の長期借入金	1,077	1,079
未払法人税等	387	623
賞与引当金	1,239	1,266
その他	9,228	8,097
流動負債合計	43,344	47,100
固定負債		
長期借入金	7,678	7,078
退職給付引当金	2,174	1,870
長期預り敷金保証金	4,737	4,644
その他	384	424
固定負債合計	14,975	14,018
負債合計	58,319	61,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,080	14,080
利益剰余金	79,255	78,056
自己株式	△7,655	△7,654
株主資本合計	111,752	110,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	△2,039
繰延ヘッジ損益	△220	△121
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	△2,582	△2,344
その他の包括利益累計額合計	△2,773	△4,906
新株予約権	253	305
少数株主持分	964	901
純資産合計	110,197	106,855
負債純資産合計	168,517	167,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	67,059	63,313
売上原価	50,017	46,814
売上総利益	17,041	16,499
販売費及び一般管理費	16,431	15,623
営業利益	609	875
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	219	198
固定資産賃貸料	319	284
その他	136	125
営業外収益合計	677	613
営業外費用		
支払利息	67	81
固定資産賃貸費用	330	260
為替差損	160	213
その他	92	182
営業外費用合計	650	738
経常利益	635	751
特別利益		
固定資産売却益	28	4
投資有価証券売却益	—	2
退職給付信託設定益	1,492	1,673
その他	37	86
特別利益合計	1,558	1,766
特別損失		
固定資産除売却損	122	38
投資有価証券売却損	—	158
投資有価証券評価損	—	380
退職給付費用数理差異償却額	1,246	1,300
その他	59	9
特別損失合計	1,428	1,887
税金等調整前四半期純利益	765	630
法人税等	532	532
少数株主損益調整前四半期純利益	233	98
少数株主損失(△)	△96	△96
四半期純利益	329	195

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	233	98
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,484	△2,470
繰延ヘッジ損益	△31	99
為替換算調整勘定	△29	235
その他の包括利益合計	△1,545	△2,135
四半期包括利益	△1,312	△2,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,197	△1,969
少数株主に係る四半期包括利益	△115	△67

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	765	630
減価償却費	3,960	3,689
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	186	△722
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32	24
受取利息及び受取配当金	△221	△204
支払利息	67	81
固定資産除売却損益 (△は益)	94	34
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	536
退職給付信託設定損益 (△は益)	△1,492	△1,673
退職給付費用数理差異償却額 (△は益)	1,246	1,300
その他の損益 (△は益)	147	117
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,522	△389
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,942	△2,091
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△152	213
仕入債務の増減額 (△は減少)	450	1,108
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△240	△105
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△59	△347
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	138	36
小計	△2,551	2,227
利息及び配当金の受取額	221	203
利息の支払額	△76	△84
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△382	△338
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,789	2,008
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△3,747	△3,722
固定資産の売却による収入	87	48
固定資産の除却による支出	△61	△23
投資有価証券の取得による支出	△284	△644
投資有価証券の売却による収入		92
貸付金の増減額 (△は増加)	47	△727
その他	16	83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,941	△4,893

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	5,468	4,021
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△540	△625
配当金の支払額	△1,437	△1,426
自己株式の取得による支出	△5	△1
その他	360	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,346	1,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	37
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△387	△880
現金及び現金同等物の期首残高	6,905	6,078
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減 額 (△は減少)	109	89
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,626	5,287

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,062	35,248	5,747	67,059	—	67,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	74	421	575	△ 575	—
計	26,142	35,323	6,169	67,634	△ 575	67,059
セグメント利益	1,928	110	324	2,364	△ 1,754	609

(注)セグメント利益の調整額△1,754百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,158	33,903	6,251	63,313	—	63,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76	65	360	503	△ 503	—
計	23,235	33,969	6,611	63,817	△ 503	63,313
セグメント利益	1,407	837	307	2,552	△ 1,676	875

(注)セグメント利益の調整額△1,676百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期決算補足説明資料

2012年度 第2四半期 連結決算概要

(1) 当第2四半期(6ヶ月)の業績等

(単位: 百万円)

項 目	当期実績 ('12/4-9)	前年同期 ('11/4-9)	増減 上段()は 増減率
売 上 高	63,313	67,059	(△5.6) △3,745
営 業 利 益	875	609	(43.7) 266
経 常 利 益	751	635	(18.3) 115
税金等調整前 四半期純利益	630	765	(△17.6) △134
四半期純利益	195	329	(△40.7) △134
総 資 産	167,974	169,365	(△0.8) △1,391
た な 卸 資 産	38,224	34,544	(10.7) 3,680
固 定 資 産	90,985	93,594	(△2.8) △2,609
純 資 産	106,855	111,226	(△3.9) △4,371
金 融 収 支 (受取利息・配当)	122 (204)	153 (221)	△31 (△17)
(支払利息)	(△81)	(△67)	(△14)
設 備 投 資	1,657	6,991	△5,334
減 価 償 却 費	3,689	3,960	△271

<業績概況>

- ・機能ソリューション事業は海外経済の減速や円高の影響等により減収減益
- ・アパレル事業は大手流通のPB（プライベートブランド）商品の拡大等により苦戦するも、原価改善等により減収増益
- ・ライフクリエイティブ事業はスポーツクラブが新規出店により堅調に推移するも、商業施設「つかしん」の改装工事影響もあり増収減益

<主たる特別損益>

- ・退職給付信託設定益 16億円
- ・退職給付費用数理差異償却損 △13億円
- ・投資有価証券評価損 △3億円

<通期予想>

- ・機能ソリューション事業の受注回復が遅れているものの、利益面ではアパレル事業の原価改善等により概ね想定範囲内で推移していることから、通期業績予想については売上高のみ修正している。
- ・年間配当は、1株当たり7円50銭を予定

(注) 自己株式の取得等の状況

	(株数)	(金額)
・取得した自己株式(単元未満株式買取含む)	5千株	1百万円
・処分した自己株式	△5 "	△2 "
・前期末に保有していた自己株式	18,369 "	7,655 "
・当期末に所有している自己株式	18,369 "	7,654 "

(2) 事業のセグメント別業績

(単位: 百万円)

項 目	当期実績 ('12/4-9)		前年同期 ('11/4-9)		増減	
	金額	割合	金額	割合	金額	増減率
売 上 高						
機能ソリューション	23,235	36.4	26,142	38.7	△2,907	△11.1
アパレル	33,969	53.2	35,323	52.2	△1,354	△3.8
ライフクリエイティブ	6,611	10.4	6,169	9.1	442	7.2
小 計	63,817	100.0	67,634	100.0	△3,817	△5.6
消 去	△503		△575		72	-
連 結 計	63,313		67,059		△3,745	△5.6
営 業 利 益						
機能ソリューション	1,407	55.1	1,928	81.6	△521	△27.0
アパレル	837	32.8	110	4.7	727	660.9
ライフクリエイティブ	307	12.1	324	13.7	△17	△5.2
小 計	2,552	100.0	2,364	100.0	188	8.0
消去・全社	△1,676		△1,754		78	-
連 結 計	875		609		266	43.7

(3) 主要経営指標

項 目	当期実績 ('12/4-9)	前年同期 ('11/4-9)	増減
総 資 産			
営 業 利 益 率 %	0.5	0.4	0.1
総 資 産			
経 常 利 益 率 %	0.4	0.4	0.0
売 上 高			
営 業 利 益 率 %	1.4	0.9	0.5
売 上 高			
経 常 利 益 率 %	1.2	0.9	0.3
自 己 資 本			
比 率 %	62.9	64.9	△2.0
自 己 資 本			
四半期純利益率 %	0.2	0.3	△0.1
一 株 当 たり			
四半期純利益 円	1.02	1.71	△0.69
潜在株式調整後			
一 株 当 たり			
四半期純利益 円	1.01	1.70	△0.69
一 株 当 たり			
純 資 産 円	551.50	569.18	△17.68

(4) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期実績 ('12/4-9)	前年同期 ('11/4-9)	増減	当期 ('12/4-9) の主たる内訳
営業活動によるCF	2,008	△ 2,789	4,798	減価償却費 3,689、税金等調整前四半期純利益 630、 たな卸資産の増加額△2,091
投資活動によるCF	△ 4,893	△ 3,941	△ 951	固定資産の取得△3,722
財務活動によるCF	1,966	6,346	△ 4,380	短期借入金及びCPの増加 4,021、長期借入金の返済による支出 △625、 配当金支払△1,426
換算差額	37	△ 3	40	
現金及び現金同等物の 期中増加高	△ 880	△ 387	△ 493	
連結の範囲の変更に 伴う増加	89	109	△ 19	
現金及び現金同等物の 期末残高	5,287	6,626	△ 1,339	

(5) 事業部門の設備投資及び減価償却費

(単位：百万円)

項目		当期年間計画			前年通期		対前期 増減
		金額	ウェイト	うち2Q累計	金額	ウェイト	
設備投資	(うち海外)	(1,400)		(127)	(2,967)		
	機能ソリューション	5,800	59.2	827	9,097	75.4	△ 3,297
	(うち海外)	(400)		(179)	(534)		
	アパレル	1,500	15.3	357	1,191	9.9	309
	ライフクリエイト	2,000	20.4	268	1,423	11.8	577
	全社	500	5.1	204	356	2.9	144
	(うち海外)合計	(1,800)		(306)	(3,502)		
減価償却費	機能ソリューション	4,400	53.7	1,848	3,993	48.9	407
	アパレル	1,400	17.1	727	1,966	24.1	△ 566
	ライフクリエイト	1,400	17.1	670	1,369	16.8	31
	全社	1,000	12.1	442	841	10.2	159
	合計	8,200	100.0	3,689	8,171	100.0	29

【当期の主要投資計画】

・プラスチックフィルム生産設備	2,200
・電子部品生産設備	2,100
・商業施設再開発	2,000

(注1) 設備投資額は建設仮勘定からの編入ベース。

(注2) 設備投資額には無形固定資産を含む。

(6) 通期業績予想

(単位：百万円)

項目	当期予想	前年通期	増減 (上段()は増減率)
売上高	137,000	136,621	(0.3) 379
営業利益	3,600	1,023	(251.9) 2,577
経常利益	3,400	975	(248.7) 2,425
当期純利益	1,600	571	(180.2) 1,029

(7) 事業の種類別セグメント業績予想

(単位：百万円)

項 目		当期予想		前年通期		増減	
		金額	㊦ト	金額	㊦ト	金額	増減率
売上高	機能ソリューション	50,800	36.7	51,500	37.4	△700	△ 1.4
	アパレル	73,400	53.1	72,948	52.9	452	0.6
	ライフクリエイト	14,100	10.2	13,424	9.7	676	5.0
	小 計	138,300	100.0	137,873	100.0	427	0.3
	消 去	△ 1,300		△ 1,252		△48	-
連 結 計		137,000		136,621		379	0.3
営業利益	機能ソリューション	4,040	55.3	3,587	76.3	453	12.6
	アパレル	2,060	28.2	192	4.1	1,868	972.9
	ライフクリエイト	1,200	16.4	920	19.6	280	30.4
	小 計	7,300	100.0	4,700	100.0	2,600	55.3
	消去・全社	△ 3,700		△ 3,677		△23	-
連 結 計		3,600		1,023		2,577	251.9